

会員のみなさま

JSPEHSS 会長の來田享子です。

会員のみなさまには、日頃から学会に参画・ご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

元日から能登半島周辺地域で大きな地震、それに伴う津波が発生しました。被災地域の皆さまの無事をお祈りし、心よりお見舞い申し上げます。また犠牲者の方々に深甚なる哀悼の意を表します。

JSPEHSS では、過去の激甚災害等で被災された会員の年会費免除などの対応を行ってきました。

「被災による会費免除を申請される方へ」をご参照ください。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/admission>

また、次回理事会では、被災された会員の状況を把握し、学会活動の継続をどのように支援するか検討いたします。

運営委員会・理事会で審議し、2024 年より、メールアドレスを登録していただいている会員には理事会通信をお届けすることとしました。「体育学研究」が印刷物として発行されている時期には理事会の活動状況が巻末に記載されていきました。論文を J-Stage に搭載するようになって以降、理事会でどのような議論が行われているのかが伝わりにくくなっている現状を少しでも改善できればと思います。

最初の通信となる今号では、会長着任時に学会 HP に掲載したご挨拶文の一部を紹介いたします。全文は学会 HP (<https://taiiku-gakkai.or.jp/>) をご覧下さい。

グローバル化が進む一方で、経済的・軍事的緊張が高まり分断が進む国際社会、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響、IT 化・デジタル化・生成系 AI の正負両面の影響など、社会は大きな課題に直面しています。この現状の中で、違いを認め合い、互いを尊重する社会をめざすために、人間が人間らしさを開花させる文化のひとつとして、身体活動やスポーツの果たすべき役割は増しています。

ジェンダー規範や障害の有無などを乗り越えることによる共生社会の実現、社会の持続可能性等の観点では、3つの場を横断する議論、相互に関連させる議論を深めることが学会には求められます。2023-2024 年期の理事会では、こうした課題を念頭に置きながら活動を進め、本学会が学術を通して社会により大きく貢献できるよう努力いたします。

2023・2024 年度第 5 回理事会が 2023 年 12 月 9 日に開催されました。議事次第は以下の URL からご覧いただくことができます。今期の運営方針に関連する主な検討事項は以下のとおりです。

<https://taiiku-gakkai.or.jp/board-news>

- ① 2023 年度第 73 回大会 (同志社大学) 開催報告
- ② 2024 年度第 74 回大会 (福岡大学) の準備
組織体制や大会テーマ、応用 (領域横断) 部会のテーマ別シンポジウム等について検討しました。
- ③ 黒字収支となった学会大会収入の参加者への還元策
2023 年度は若手会員への参加費免除に取り組みました。次大会以降のさらなる還元策として、情報交換会の参加費・託児所利用料の無料化が決定しました。
- ④ 保健専門領域の名称変更に関する申請
「専門領域の名称変更に関する申し合わせ」に則り審査委員会が設置されました。
- ⑤ 「運動部活動の地域移行に関する調査」報告書について
2023 年 3～5 月に 16 専門領域および地域協力学会 (21 学会) にご協力いただいた調査の結果が理事会で報告されました。報告は「体育学研究 Report」に公開予定です。

以上